

[okazaki\_40]

活動タイトル	苫小牧市衛生団体連合会 保険衛生員研修会で講演
実施日	2008年12月16日
場所	苫小牧市民活動センター（苫小牧市）
対象数	45人（苫小牧市衛生団体連合会保健衛生委員）
内容	<p>タイトル「家庭でできる省エネと地球温暖化の防止について」</p> <p>最初に、推進員のリーフレットを配布し、推進員制度と活用法についてPR。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 温暖化の状況を説明</li><li>2. 温暖化懐疑論について触れ、化石燃料が有限であること、二酸化炭素は、化石燃料使用の指標であることから、低炭素社会の構築は、必須であることを確認。</li><li>3. 苫小牧の温室効果ガスの排出状況について紹介。<ul style="list-style-type: none"><li>○ 90年比の増加原因が世帯数の増加と、自動車の増加であったため、エコドライブの必要性を紹介。エコドライブの基本になる正しい運転姿勢について、イラストを使って説明。「ガソリン節約のツボ」北海道経済産業局を配布。</li><li>○ もう一つの増加原因のプラスチック焼却からの排出量増加については、市で、分別・資源化を予定されているとのことで、その際に、広報面等で保険衛生員の皆さんの力が重要であると伝えました。</li></ul></li><li>4. 家庭でできる省エネについて説明<ul style="list-style-type: none"><li>・待機電力を減らす</li><li>・省エネ家電を選ぼう：省エネラベル・トップランナー制度の説明</li><li>・保温調理の説明</li><li>・暖房を効率的に利用するための、カーテンの工夫や、衣類の工夫</li><li>・カーボンフットプリントの取り組みを紹介し、消費者ができることとして、使い方で気をつけることの他に、購入と廃棄という重要な点があること、購入によって、生産や製造、輸送の省エネにも働きかけることができることを伝えました。</li></ul></li></ol> <p>配付資料：ガソリン節約のツボ、灯油節約のツボ（いずれも北海道経済産業局）</p> <p>■ 主催者の方から、「地域の間人は、その中のことしかわからない。他の地域の取り組みや、国の動向などを聞くことで、比較したり、取り組みのヒントを知ったりできるのでありがたい。」とお聞きし、推進員の意義を再確認しました。</p>

実施写真等